

城のある都市復活

# 福岡城だより

2012.1

JANUARY

No. 32

## 頌

## 春



黒田如水



黒田長政

大分県立歴史博物館所蔵

「福岡城だより」

創刊九年目に寄せて

鴻臚館・福岡城歴史・  
観光市民の会 監事 仁田 辰治

新年あけましておめ  
でようございます。



「福岡城だより」が創  
刊したのが今から九年  
前の六月でした。福岡  
城築城四百年を記念し  
て結成した「実行委員

会」の機関誌として生まれた「お城だより」で  
した。会の記録に加えて、会員相互の情報交換、  
ふるさと福岡城の資産文化を後世に価値ある姿  
で伝え、理解を深めるべく頑張ってきた手造り  
の広報紙でありました。

鴻臚館・福岡城ゆかりの人々の執筆を重ねて、  
いろいろな催事情報や研究成果発表等を掲載し  
ながら常に「会」のビジョンや方向軸を明記し  
て来ました。

平成十七年（二〇〇五年）の第五号から会員  
500名の方々と共にNPO法人と成長し、正  
式名称「鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会」  
となり、特定非営利活動法人としての決算報告  
並びに年次事業の細目までも記載できるよう  
になりました。

平成二十二年（二〇一〇年）からは本紙表記  
を「福岡城だより」と改め、更なる福岡城の復  
元に向かって内容を濃くして、月次編集会議に  
て会の方針に添って制作発行される姿に敬意を  
払っております。毎年次、四季にわたって定時、  
定速、毎三〇〇部を県、市、各機関に配布さ  
れている由、特に全国のお城の再建を目指す団  
体へも提供されているばかりでなく、インター  
ネット情報とも連携し、「お城」の貴重な資料  
として育てられて来たのだとは思っております。  
今回からは更に一歩前進して、福岡城跡の  
「跡」の字を削除した会名と共に前に向かって  
天高く、理想の飛龍の姿を描いてください。



## 第1回「市民フォーラム」

# 福岡城・鴻臚館を観光都市福岡のランドマークに

― 勿体ない！ 今こそ活かそう都心の48万㎡ ―

平成23年度福岡県「新しい公共」支援事業

日時…平成24年1月10日(火) 14:00～16:30(開場13:30)

場所…アクロス福岡 4階 国際会議場

定員…300名(先着順) 入場無料



## あつ！観光客が福岡を素通り

九州新幹線全通で今年度上期は関西・中国から九州入りこみの観光客が大変増えていきます。ところが皆さん福岡を素通りして、熊本や鹿児島に向かっていきます。鹿児島島の指宿温泉など宿が取れないくらいという噂も出るくらいです。どうも遠方から見える方々にとって福岡は観光地ではないと思っているらしいのです。そんなことはない、福岡には素晴らしい歴史・文化の観光資源や固有の食文化も沢山あるのに。熊本といえば何ていったって「熊本城」・「水前寺公園」、一寸足を伸ばせば雄大な「阿蘇」と誰もが知らず知らずと言います。鹿児島といえば、噴煙の上がる「桜島」、それに「西郷さん」・「島津の磯公園」近くに「霧島」「指宿」温泉とすら出でます。福岡といえばすらすら出でるのはどこでしょうか。福岡市民が「遠来のお客様を案内するところは何？」と問われて「うーん」となります。「大宰府」「柳川」ですか。福岡市ではないですね。そうだと福岡には万人が思いつく「ランドマーク」がないのです。福岡に観光に行つてみようと思わない。困ったものです。何とか福岡にも「ランドマーク」を作りましょうよ。

## 都心の福岡城・鴻臚館は いったいどうなっているの

都心にある48万㎡の福岡城、そこには1300年も前の鴻臚館も出てきています。福岡城下町として今の姿に出来上がった東西7kmの福岡のど真ん中にぽっかりと真空地帯のように福岡城という史跡がひっそり(?)たたずんでいる。これこそ立派な石垣も残っている歴史・文化の殿堂ではないか。あまり人も訪れず、市民も行ったことがないという人が沢山います。まことに勿体ない話です。

ここから今度のフォーラムは始まります。バーチャルリアリティで今の福岡城を少し模様替えして見ましょう。こんなに素敵な壮大なものだったのか！精巧な模型の展示もします。こんなに立派な天守閣や櫓や門や塀が堂々と聳えていたのか。びっくりです。

## 福岡城・城下町の魅力紹介、 金沢城からも学ぼう

お二方のスピーチが始まります。九州大学名誉教授の丸山雍成先生の「天下の福岡城と多彩な文化の城下町」です。黒田如水・長政親子のつくった国際都市福岡の構想を

今に重ね合わせます。

次は北陸の金沢城調査研究所長北垣聰一郎先生の「福岡城と似ている金沢城からのメッセージ」です。明治の初めに陸軍が城域を押さえたから、今でも城郭がそっくり残っている。しかし建築物はほとんどいつていいくらいなくなりました。福岡城と金沢城は似ています。どちらも、今観光都市のシンボルとして活用しようというところに来ています。あらためて境涯の似ている金沢城の話聞いて福岡城活用のヒントをいただきます。どちらも城下には伝統的な町屋が残っています。

最後に二人の先生も交えて、会場の参加市民の皆さんのご意見なども聞きながらトークセッションで未来の福岡城・鴻臚館のあり方を熱く語り合ってください。そして「あなたならどうする都心の48万㎡」という市民意見の募集を告知いたします。3月までにアイデア・構想の募集をいたします。

主催…福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える

実行委員会

共催…NHK福岡放送局

後援…福岡市 福岡市教育委員会 福岡商工会議所 福岡コンベンションビューロー

ロー 福岡青年会議所 福岡アジア都市研究所 九州電力 西日本鉄道 福岡銀行

ホークスタウン NPO 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会

館・福岡城歴史・観光・市民の会

お問い合わせ…事務局(NPO 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会)

TEL 092-716-8238

FAX 092-716-8254

Email info@fukuoka-oshiro.com

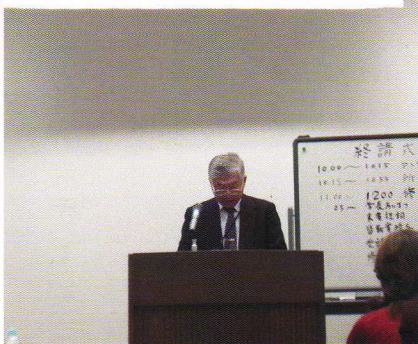
http://fukuoka-oshiro.com

## 市民大学第四期生誕生

第四回福岡歴史・観光市民大学は、六月六日の開講式から始まり、十一月十四日に終講式が行われました。回を重ねるごとに盛況で、今年は申込者が一五七人もあり選ばれた一六人が受講し、八二%にあたる八九名の方々に修了証書が渡されました。

とても熱心な方が多く毎回の出席率も良く、次年度の開催についてもお尋ねがあり年々、充実した市民大学になってきています。

## 平成23年 福岡歴史観光市民大学 修了証授与式









# NPO法人 福岡城市民の会(略称)発足8周年記念特別事業

## 歴史探訪・バスツアー

# 「黒田如水・長政親子」の九州戦跡を訪ねる

黒田如水は、天正15年(1587)豊臣秀吉の九州征討で戦功をあげ、中津城を築きました。

黒田長政は、慶長5年(1600)関ヶ原合戦において大功をおさめ、筑前国52万石の太守となり広大な城を築き「福岡城」と名付けました。

以来400年後、「福岡県福岡市」の地名が生まれ、九州の中心都市として発展を続けています。

本年も黒田如水・長政親子の戦功を顕彰する歴史探訪バスツアーを下記の通り実施します。会員の方は勿論のこと、友人知人の方にもお誘いの上、お気軽にご参加頂きますようお願い申し上げます。

福岡城市民の会 事務局長 岡部 定一郎

第1回	平成24年 3月 9日(金)・ 10日(土)	豊臣秀吉の九州征討 「豊後・日向口」を訪ねる1泊2日	第5回	7月14日(土)	九州の関ヶ原「肥後水俣城・佐敷城・宇土城」を訪ねる
第2回	4月14日(土)	黒田家、九州最初の拠点 豊前「中津城」を訪ねる	第6回	9月 8日(土)	六端城めぐり①若松城・黒崎城・高取城
第3回	5月12日(土)	「文禄・慶長役」肥前名護屋城と 黒田陣屋跡を訪ねる	第7回	10月13日(土)	六端城めぐり②益富城・小石原城・右左良城
第4回	6月 9日(土)	九州の関ヶ原「豊後国東半島と 別府石垣原」を訪ねる	第8回	11月10日(土)	黒田長政がつくった「直方藩」と 「秋月藩」

●旅行代金 第1回¥25,000円 第2回～第8回各回¥9,000円

●募集人員 各回30名(最小催行人員、各回20名)

●企画 NPO法人 福岡城市民の会 同行:岡部定一郎 野田弘信 ●旅行実施 (株)西日本新聞旅行

お申し込み  
お問い合わせ

(株)西日本新聞旅行

福岡市中央区天神1-4-1  
担当:安倍

TEL 092-711-5518 FAX 092-711-1969

## 福岡城・市民の会の名称が変わりました!!

NPO法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会(平成17年2月8日に発足)の名称を変更いたしました。

当会の活動目的の一つである鴻臚館・福岡城の復元や保全に関する研究及び啓蒙事業を進める際に福岡城跡の表現は、適正でないと判断して「跡」を削除し鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会となりました。法務局に手続きをいたしまして平成23年10月28日に認可、11月8日に登記が終了しました。

これからも会員の皆様方とともに、この会を発展させていきたいと決意も新たに事務局員一同頑張ってまいります。応援よろしくお願い申し上げます。

### 新規会員名簿 (平成23年10月1日現在)

正会員(個人)

野口 剛 生  
坂本 俊 文  
安 倍 信 己

一般会員(個人)

山口 哲 子

### 編集・発行 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階

TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254

HPアドレス <http://fukuokajokorokan.ngpo.jp/>

E-mail [fukuokajo@tos.bbq.jp](mailto:fukuokajo@tos.bbq.jp)

[デザイン・印刷] 城島印刷株式会社

福岡城市民の会

検索



### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年には市民の会にとって、うれしい年になりそうです。

昨年九月から福岡県「新しい公共」支援事業を福岡市や民間の方々が進めております。今までの会の歩みに少し弾みがついた感じがいたします。

また、福岡市が経済観光文化局とする組織の再編集を発表し四月より実施されます。我々の念願である福岡城・鴻臚館の再生への道が愁眉を開かれた気がします。

福岡城・鴻臚館をランドマークに掲げ、これから大いに飛翔したいと思っています。今年は龍年、より躍進したいと願っております。

会員の皆様方の積極的な会へのアプローチをぜひお願いしたいと存じます。

一月十日の「市民フォーラム」も併せて応援方よろしくお願い申し上げます。